

令和6年5月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 5 月定例会

2 開 催 日 時

令和 6 年 5 月 22 日（水） 10 時 00 分開会 11 時 14 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 3 委員会室

4 会 議 の 公 開

一部非公開

5 出 席 委 員

佐々木教育長、戸田委員、森田委員、大石委員

6 出席事務局職員

姉川教育部長、牛嶋教育部次長兼生涯学習課長、佐藤教育総務課長、井手学校教育課長、立石学校給食課長兼学校給食センター所長、権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事、久家生涯学習課参事、西木教育総務課長補佐兼総務係長、辻教育総務課長補佐兼教育支援係長、岡本学校給食課長補佐兼学校給食センター係長、古賀学校教育課インクルーシブ教育推進係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

0 人

8 経 過 報 告

4月定例会以降の経過報告

9 議事録承認

4月定例会の議事録承認 【承認】

4月臨時会の議事録承認 【承認】

10 報告事項

(1) 学校運営協議会の実績報告

(2) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

11 議案

議案第11号 令和5年度鳥栖市育英資金貸付基金の運用状況について

議案第12号 議会の議決を経るべき議案の原案について

(令和6年度鳥栖市一般会計 教育委員会6月補正)

臨時代理報告第4号 就学指導委員会委員の委嘱について

臨時代理報告第5号 鳥栖市教科「日本語」教科書改訂委員会委員の委嘱について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

令和6年度 学校閉庁日について

13 次回会議予定

教育委員会6月定例会 令和6年6月12日(水) 9時00分から

○佐々木教育長

ただいまから、教育委員会 5 月定例会を始めたいと思います。議事に入ります前に委員の皆様にお諮りいたします。議案第 12 号、議会の議決を経るべき議案の原案について令和 6 年度鳥栖市一般会計教育委員会所管 6 月補正予算につきましては、鳥栖市教育委員会会議規則第 11 条第 1 項第 3 号、議会の議決を経るべき議案の原案に関する案件に該当しますので、非公開により審議を行うことに御異議ございませんでしょうか。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。それでは、議事に入ります。経過報告をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○牛嶋教育部次長兼生涯学習課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、何かご質問等ありますでしょうか。無いようでしたら次に進みます。議事録承認については、4 月に開催しました、定例会及び臨時会の議事録を事前にお配りしております。内容の修正等ありますでしょうか。では 4 月定例会及び臨時会の議事録について御承認いただくということよろしいでしょうか。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。それでは、報告事項に入ります。学校運営協議会の実績報告について事務局より説明をお願いします。

○権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

説明が終わりましたが、御質問、御意見等ありますでしょうか。

○大石委員

御説明ありがとうございました。内容的にとっても良い取組をされているのと思いました。御説明の中で大人としゃべり場や、逃走中などありましたけれども、地域の方々ばかりが中心で活動するのではなく、地域を巻き込んで地域、学校で協力した活動が出来ているのではないかと感じているところです。また教えていただきたいのですが、地域学校協働活動推進員という肩書きがあります

が、以前コーディネーターという呼び方もしていたかなと思うんですけど、同じという認識でよろしいですか。

○牛嶋教育部次長兼生涯学習課長

学校によってコーディネーターと地域学校協働活動推進員を一緒にしている学校もあれば、別になっている学校もあります。もともと地域学校協働活動推進員という制度が、始まったときに、そういったコーディネートをする方が、法的に位置づけがないというところで、社会教育法を国が改正をして、そういった学校と地域をコーディネートする方を協働推進員として、委嘱するという制度をつくってきているという流れがあります。ゆくゆくはコーディネーターと、地域学校協働活動推進員は一緒にした方がいいのかなというイメージを持っていますが、地域ごとのやり方もありますので、そのやり方でやっていただき、要は地域と学校が一緒になって、子供たちを育てていこうということが進んでいけば、無理やり一緒にしてくださいということは、今のところお願いしてはいません。

○佐々木教育長

他に御質問ありますでしょうか。

○戸田委員

先ほど御説明の中で今後の課題として、「学校運営協議会を中心とした取組が、教員の働き方改革につながるような手だてについて考える必要がある」とあるのですが、これについて、鳥栖市内の他の取組を参考にとという話があり、もちろんそれも大事だと思いますがそれ以外に、例えば鳥栖市外の他地域のコミュニティースクールの事例や、先生側からの提案という形で、アイデアを提示するののも一つの方法かなと思うのですけれども、そういうことは、あり得ますでしょうか。

○権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

鳥栖市外の他地域の事例についてはですね、こちらで事例を調べていきたいと思っています。それから、保護者からの要望っていうところもあると思います。それについてはPTAを通じて、要望を上げていってもらって、それを実現できるような形で進めていきたいなというふうに考えております。

○戸田委員

先生側からはいかがでしょうか。地域側からだと、この学校で何ができるかは、理解しにくい部分もあると思います。もちろん協議会の中での議論は、先生方も入られるので分かってはいらっしゃるでしょうけど、先生の声を引き上げるみたいなことは難しいでしょうか。

○権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

先生方からの声についてはですね、こちらで取りまとめをする必要があるかなというふうに考えております。おそらく、先ほど御紹介しました九九検定や、

ミシンボランティアなどは、学校からの要望から上がってきているものだと考えられます。

○佐々木教育長

他地域の事例等をどうやって各学校に広めていくかということについては、学校運営協議会に、学校教育課、生涯学習課から、参加をされておりますので、その中で紹介はできるのかなと思います。様々な地域で今、コミュニティースクールの取組が進んでいますので、メディア等でも紹介があると思いますから、そういった情報等を委員会のほうから提供していくというやり方はあるかと思います。それから以前から、大石委員のほうから市内で集まって、各地区の取組について、協議や報告をしていく機会を設けてはどうかという意見をいただいておりますので、そういう取組も、委員会のほうで取りまとめて進めていければと思っています。ほかにないでしょうか。

大石委員

戸田委員がおっしゃるようにやっぱり先生方、学校側からの意見をどうやって吸い上げていくかというところで、これはPTAの話になるんですが、教育懇談会というものを毎年実施していますが、どうしても保護者の要望ありきのところが少し強い傾向が今まであったので、本年度からは、学校側からの要望もしっかり出るような形で進めていきたいなと思っていますところです。これまで教育委員会の各課長さんに来ていただき、各校で先生と、保護者が話し合う場を設けて、そこに各課長さんに入ってもらっていたんですけど、そこには入ってもらわずに、互いに認識のすり合わせによって、その場で解決できることも恐らくあるだろうという考えのもとで、やっていくような方向なので、学校側から先生側からの御意見とかもどんどん出していただけるようにPTAとしてもやっていこうと思っている次第です。

○佐々木教育長

ほかにないでしょうか。では、学校運営協議会の実績報告につきまして、報告のとおり、御了承いただくということで進めたいと思います。では次に報告事項の2項目、令和5年度全国体力運動能力、運動習慣等調査結果について、事務局の説明をお願いします。

○権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明がりましたが、御質問、御意見等ありませんでしょうか。

○大石委員

総体的に分かるように、表で示していただいて、大変見やすいんですけれども、今後可能であれば、対象が小5中2の子どもたちになってるんでしょうけれど

も例えば、1番最初に提示いただいている体格体力調査結果について、小5、中2の子どもたち、それぞれを書いてもらってますけど、この平均とかも出してもらおうと全体的にパッと見やすくしていいなと思うのが1点。また、全国平均を提示いただいていますけど、各県の平均もあると、すごく運動能力が高い自治体があれば、そういったところの取組も参考になるんじゃないかなと思いますので、その辺りも出していただけるとありがたいと思いました。

○佐々木教育長

正直統計学が難しいところかなと思うので、平均に比べてすごく数値が低いかなと思うのか、あと僅かなだかなと思うのか。例えば、T得点が49.5というのは、あと僅かなのか。また、47.1という数値はかなり低い値なのかというところが難しいところではあるなと思います。単純に数値で明確になって分かりやすいように見えるのですが、そこから動機づけを得て、課題としてそこから取組を実施していくかというのがすごく大事なかなと思うところです。森田委員から何か、この結果を見られて感想などありますでしょうか。

○森田委員

本当に一つの感想なのですが、小学校5年生での数値を見る限りでは、平均より上だったのに、中学2年生ではこんなに下がるものなのかなと思いますね。小学校5年生くらいの子どもたちというのは、例えばマット運動であっても出来ないながらも、楽しくやってくれる子どもが結構多くて、苦手な子も来てくれています。中学生になると、思春期もあるから、少し動きを抑えている部分もあるのかなと思っています。そのために中学2年生ではこれだけ数字が下がっているのかなという気がしています。ただ余りにも平均を下回っている種目が多いなと思ってびっくりしました。また今は、ダンスのような授業の中にも入ってきてるので、特に中学生の女子とかは、割とそういうダンスって積極的に楽しく授業をやってる様子は、学校訪問などでよく見ます。ああいったものをしていけば、より柔軟性などの向上など期待できるのかなと思います。うちは去年初めて器械体操を取り入れたのですが、前転して開脚で立ち上がるとか、後転をさせると横に転がってしまう子が結構いるとか、やり方が分かっていない子が多いようでした。低学年だったら分かるんですけど、高学年の子でもこんなに出来ない子が多いのかとちょっとびっくりして、話を聞くと、「学校ではやってないよ」という声があって、体育の授業も選択できるようになっていますし、また先生の指導のやり方というか、専門的な指導が出来ないことからかなと思いました。去年の教育週間の際に、基里に行ったときは、いろいろ、マット運動をしたり飛び箱をしたりされているのを見たのですが、できる子はできるけど、ある児童で手をつくことが出来ずに、顔からついてしまう子がいてその辺りをもう少し教えてあげたら、ケガするにしても少しはいいのかなと。そういったところに

ももうちょっと目を向けられるといいのかなと思って見ていました。

○井手学校教育課長

まず器械体操をなかなかやらないという御指摘がございましたが、一応学校では高学年で、飛び箱運動であったりマット運動であったりを全ての学校において、年間教育計画の中に位置づけているところがございます。森田委員の御指摘にございますように教師の力量というものに、かなり差がございます。ですの
でただ自由にやらせるというと聞こえはいいんですけども、本当に基本的な体の動きや、スキルをきちんと指導が出来てるかという、なかなかそこに至らない部分もあるのかと思います。今年度若葉小で実施している水泳授業の民間委託を見ていると、水泳に関してもやはり教師の力量の部分に関しては、なかなかやっぱり足りない部分があると感じます。若葉小学校で委託しているベストスイミングへ出向いて、指導の様子を見ていると、やはりしっかりとした指導をされていて、実際、教員も指導員の指導スキルに驚いているような状況でございます。一つ一つの競技種目を見ていくと、やはり職員の指導レベルを上げていかなければいけないと痛感します。ですが、なかなかレベルアップのための研修会の時間の確保というのが、実際進んでいない現状でございます。また、大石委員から御指摘がございました全国体力運動能力等の調査でございますが、県の調査はですね、全ての学年で行っておりまして、今回教育委員の皆様配布されております、例えば鳥栖市教育プランの基礎データ集の31、32ページをお開きいただくと、ここでは新体力テストと銘打っておりますが、ここに平均値の推移がございます。実際私も担当していたときに、全国平均よりを下回っていた状況がございまして、当時臨時で体育主任会を開かせていただいて、小中学校それぞれの体育主任の先生方に、問題を提起させていただきました。その中で、小学校は「これではいけない」という危機感を持たれる先生が多く、何かしらの手だてをと思い、8校の担当で頭突き合わせながら考えたところでした。全てにおいて、向上するというのは難しいですけども、例えば、令和4年度の5年生男子で全国は55.27ポイント、鳥栖市は51.87ポイントと開きがある状態でした。令和5年度に向けて体力向上のいろんな取組を、学校でされたところ、一つ学年が上がりますので令和5年度の6年生ですね。そこでは国が60.26ポイントに対して、鳥栖市が58.92ポイントと、依然平均よりも低くはありますが、少し近づいてきているのかなと思います。やはり、体育主任が中心となって、体力のことを意識することはとても大切だなと思いました。また中学校におきましては体育主任からその当時に出た意見として、小学校と中学校で調査対象が違うということは教育委員会も認識していただきたいとの意見がありました。やはり学力の上位1割から2割の子たちで県立や、私立のほうに抜ける子がいて、一概に言えませんが、学力が高い子の方が、比較的運動能力も高い子も多いと。そういう状況

でもあることは、御認識いただきたいと中学校の体育主任も承っておりますので、この場で御報告させていただきました。

○佐々木教育長

今御指摘いただいたことについては、学校教育課でどのようにして学校へおろすか。それから、井手課長からもお話があったように、こうした実態調査をしたことをどう課題意識を持って、学校の中で先生方が取り組むのかということが、すごく大事なことと思います。課題意識があれば当然それをどうやって解決していこうかという方向に向きますし、意識をしっかり持つということは大切というふうには考えているところです。他に御意見等ありませんでしょうか。それでは次に移ります。議案第 11 号令和 5 年度鳥栖市育英資金、貸付け基金の運用状況について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局から説明がありましたが、御質問等ありますでしょうか。

○大石委員

基金の運用について教えていただきたいのですが、この金額の妥当性というところで、収支がきれいに推移してるように見えるのですが、これが妥当か否かという判断がつかないのですがその辺で何かお示しいただけますでしょうか。

○佐藤教育総務課長

定期預金の運用の部分につきましては、100 万円以下端数の部分を、決済用預金として、持っておきまして残りの分については、運用しているような状況でございます。実際のところもう少し運用できるかもしれませんが、現状としては例年 6,000 万円という形で、100 万円以下の部分を決済用預金という形で残しているところでございます。

○大石委員

今 6,000 万という金額、を定期預金としているということでしたが、これが塩漬けにならないかどうか心配していて、そういうことは恐らくないと思うんですけど、どういうときに、動いていくのかというのがよく分からなかったなのでその辺りをもう少し教えてください。

○佐藤教育総務課長

現状この貸付けについては学校通じて、募集をかけておりますが、令和 5 年は新たに 2 名委員会承認していただいて、貸付けを行っております。しかしだんだん人数は少なくなっているという現状でございますので、今後例えば他の市町村では対象範囲を高校生以外にも広げているところもありますので、現状のままでいいのかというのは、今後在り方について検討をする必要があ

ると今考えているところでございます。

○森田委員

貸付金の金額の面でも見直しは考えられるでしょうか。というのは、貸付金の金額が1年間で12,000円の12か月なのですが、おそらくうちの娘の時も同じ額だったと記憶しています。このままの額で、子供たちの就学するために必要なお金が賄えているのかどうか、しばらく金額が変わっていない気がするのです。その辺のことも教えてください。

○佐藤教育総務課長

貸付けの金額や対象者について、他地域の貸付金額等を調査して、現状の中で妥当なのかというのを検討していきたいと考えます。

○佐々木教育長

他に御質問等ないでしょうか。無いようでしたら次に移ります。議案第12号議会の議決を経るべき議案の原案について。令和6年度鳥栖市一般会計教育委員会所管6月補正予算を議題といたします。

(非公開の議事開始)

以下の議事については非公開

議案第12号 議会の議決を経るべき議案の原案について。

(令和6年度鳥栖市一般会計教育委員会所管6月補正予算)

(審議の結果、議会の議決を経るべき議案の原案について。令和6年度鳥栖市一般会計教育委員会所管6月補正予算は承認)

(非公開の議事終了)

○佐々木教育長

続きまして、臨時代理報告第4号、鳥栖市就学指導委員会委員の委嘱について議題といたします。事務局の説明をお願いします。はい、

○井手学校教育課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局より説明が終わりましたが、御質問ありますでしょうか。では、臨時代理報告第4号鳥栖市就学指導委員会委員の委嘱について、報告のとおり委員として委嘱いたしますこと御承認お願いいたします。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。では続きまして臨時代理報告第5号鳥栖市教科「日本語」教科書改訂委員会の委員の委嘱について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

○井手学校教育課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局より説明が終わりましたが、御質問等ありますでしょうか。今回の改訂に当たっては前回の検討委員会から、文化的な視点を入れていこうということ。また、総合的な学習や、他の教科に発展するような横断的なカリキュラムを見据えていきたいということで進めています。そういった意味から戸田委員にも、今回教科書改訂委員会の委員をお願いし、社会学的な視点を持って見ていただきたいと。また、佐藤氏につきましては、現在も非常勤講師で各学校の、礼法等の指導にも積極的に入っていただいております。そういう意味でも、委員にも入っていただいて、検討、改訂を行っていこうと考え、委員を選定いたしております。それでは、臨時代理報告第5号鳥栖市教育、教科「日本語」教科書改訂委員の委嘱について報告のとおり委員として委嘱いたしましたので御承認をお願いいたします。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。それでは今後の予定について事務局の説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○大石委員

水泳の民間委託の件で1点だけ確認をさせてください。若葉小で5月16日から始まったということで、検証ということで今後どうしていくか考えられていると思うのですが、今後の計画や、若葉小以外の各校をどのようにやっていこうかという青写真があれば、お聞きしたいのですがいかがでしょうか。

○佐藤教育総務課長

今年度の若葉小の水泳委託については、検証事業ですので若葉小学校の水泳事業を行った後に先生、児童に、感想等のアンケートを取りたいと思っております。それを受けた上で、次年度以降どうやっていくかという形になるかと思いますが、一つの施設で複数校の受入れが可能かどうかとか、鳥栖市にあと一つ民間のスイミング施設がありますので、そちらが受入れできるかどうかとか、そういった部分を、何年かかけて検証を行った上で最終的な判断をしていく形になるかと思いますが。あと一つの民間施設で受入れが出来ないということであれば、市外のスイミング施設も考えなければいけないかなというふうには考えているところでございます。今後そういう形で検証をして、費用の面で民間委託の費用と、

学校プール施設を築 30 年以上経った場合の建替え等の費用と、比較しながらどちらの方が後々効果的なのかなどを判断して最終的な方針を決めていきたいと思っております。

○大石委員

ありがとうございます。検証事業ということで、全ての小、中学校を対象に民間委託するのか、この学校プールは残そうかということになるのか、そういうのも含めて検証するという事でよろしいですね。

○佐藤教育総務課長

おっしゃるとおりでございます。やはり小中学校計 12 校ありますし、学校プールを残すのかということと、今の天候の状況とか、指導される学校の先生方の負担であるとか、というところも含めたところで検討していくということでございます。

○佐々木教育長

ありがとうございます。今大石委員が言われたことなどを含めて検証していきますので、またこの教育委員会の中で協議していただく機会を持っていきたいというふうに思ってます。次に井手課長より学校閉庁日についての報告をお願いします。

○井手学校教育課長

(資料に基づき説明)

○大石委員

御説明ありがとうございますそうですね
昨年 2 月に教育委員会と P T A 連合会で包括協定を結ばせていただいておりますので、このように名を連ねると保護者の皆さんにもいい感じに浸透するのではと思います。また個人的疑問になるのですが公用携帯はどなたが持たれるのでしょうか。

○井手学校教育課長

この期間は特定の職員が 1 人で長く持つのではなく、学校教育課に指導主事が 3 名おりますので、3 名で交代しながらできるだけ長い時間を 1 人で抱えないような対応をしたいと考えております。

○大石委員

それを聞いてすごく安心をしました。私の子どもの対応でお世話になったことがあって、井手課長にも当時電話に出てもらったこともあったので、御苦労御負担がかかるんじゃないかなと思うんですけど、皆さんで連携していただけるならいいなと思います。

○佐々木教育長

お気遣いありがとうございます。他市町についてもほぼ同じ期間で学校閉庁

日の対応しておりますので、このように進めさせていただきたいと思います。それでは、本日の議題につきましては全て終了いたしました。長時間にわたり御審議ありがとうございました。これをもちまして鳥栖市教育委員会5月定例会を終了いたします。